

ID No.	3023
研究課題名	ヒト正常上皮細胞層を用いた、ヒトノロウイルスの侵入に關与するレセプターの同定、および侵入様式の解明
研究代表者	佐藤 慎太郎 (大阪大学・特任准教授)
研究組織 受入教員 研究分担者	清野 宏 (東京大学医科学研究所・教授) 幸 義和 (東京大学医科学研究所・助教) 岸川 咲吏 (東京大学医科学研究所・大学院生)
研究報告 当初の予定通り、ヒト、およびマウス腸管上皮細胞層の構築が医科学研究所と微生物病研究所の両施設で可能になった。 本研究では、マウスNoVのタンパク質受容体の同定も含めていたが、今年の8月、および10月に、Dr. Virginと感染研の片山先生のグループがそれぞれマウスNoVのタンパク質受容体を同定されたため、研究を中断した。 また、また9月には、Dr. Estesのグループからヒト組織由来の腸管上皮細胞を用いたヒトNoVの培養系構築が報告された。研究のStrategyは申請者らのものと変わらないものであったため、以降はヒトNoVのタンパク質受容体の同定と、増殖効率のさらなる改善を目標に研究を継続させていきたい。	